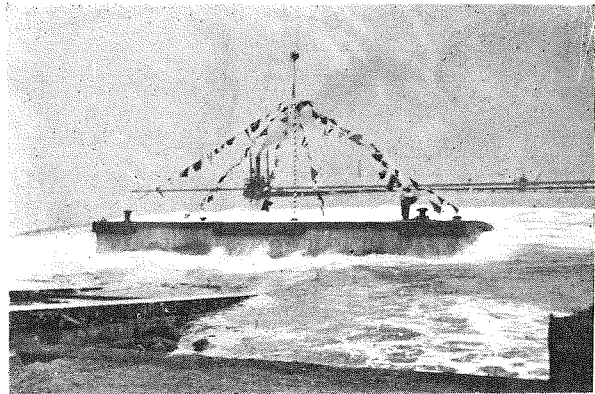


臼杵港棧橋用浮函製作工事

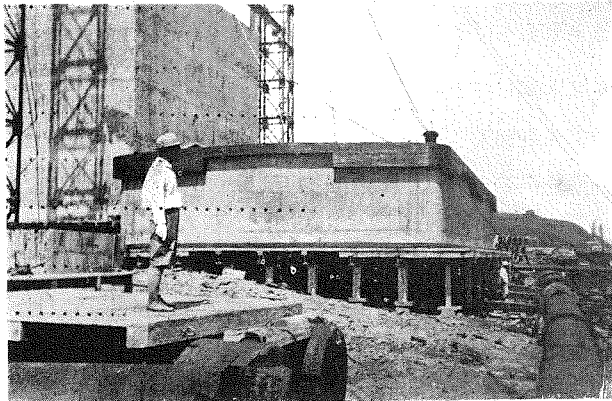
内務省大分港修築事務所長 古河 順 治
内 務 技 師

臼杵港は工費 135萬圓，自昭和12年度至同14年度3ヶ年繼續の大分縣營事業として修築工事を施工中であるが、縣は本港に使用する棧橋用浮函3箇の設計並に製作方を工費55,500圓を以て内務省に委託した。依つて大分港修築事務所に於て之を設計し、本年1月から本格的に製作臺擴張及び型枠製作に取り掛り、去る6月21日第1函を進水せしめ、目下第2函を製作中である。
因みに之が設計並に施工監督は内務技手佐田悦二君が擔當して居る。(14.8.1)

2. 進水の刹那 (6.21)



1. 進水を待つ浮函第1號 (6.19)



後方に在るのは高10m、長12m幅7.50mのケーソン、立てる人物は佐田技手。